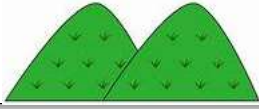


わくわく きらきら いきいき

広原小学校通信（令和5年度） 最終号



令和6年3月28日発行 文責 校長・東 篤志

お世話になりました。ありがとうございました！

春は別れの季節でもあります。本年度末で広原小学校を離れることになった職員を紹介します。勤務した年数は異なりますが、これまでの暖かいご支援に感謝申し上げます。

下別府和子（2年担任） 宮崎市立広瀬西小学校へ



毎日充実した楽しい日々を送ることができた1年間でした。私は、学校が楽しいと思えるようにすることが教師の役割だと思っています。子どもたちが、「わくわく、生き生き」するように子どもたちと学校生活を送ってきました。広原小学校のみなさん、楽しい学校生活をありがとう。人生は一度しかありません。失敗を恐れずに、いろいろな事に挑戦してほしいなあと思っています。そして経験値の高い人生を送ってください。

保護者の皆様、地域の皆様方にも大変お世話になりました。おねっこたっこ、初めての経験でした。たくさんの方々に支えられて広原小学校の伝統が引き継がれていると思いました。短い間でしたが、本当にありがとうございました。

菊池麻琴（1年担任） 宮崎市立池内小学校へ



広原小学校で4年間お世話になりました。1年担任を4回してきました。4年前は、コロナ感染が流行し始めて、全ての行事が制限されました。そして、今、マスクを外し、当たり前の日々を過ごせるようになったことを幸せに思います。

子ども達と過ごす1年1年がとても楽しくて、あっという間の4年間でした。

宮崎では、両親と一緒に住み、介護をしながら仕事を続けていきたいとします。保護者の皆様、地域の皆様大変お世話になりました。

佐藤千明（あすなろ担任） 高原小学校へ



2年間、広っ子の皆さんと様々なことに挑戦し、泣いたり笑ったりする中で、皆さんの成長を身近で見守ることができて、とても幸せでした。私にとって、広原小学校は特別で大切な場所です。ここでの出会いや経験に感謝しています。これからも、様々な経験をしていく中で、沢山の出会いや別れがあると思います。その一つ一つに感謝し、大切にできる広っ子の皆さんでいてください。また、お会いできる日を楽しみにしております。広っ子の皆さん、保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。